

静岡県では、みかん、いちご、レタス等、秋から春にかけて収穫のピークを迎える品目が多い中、担い手の高齢化、他産業における労働者不足も重なり、農業の短期雇用の確保が課題となっている。

そこで、シニアや女性等の潜在的な労働力の掘り起しを行い、各地域のJA無料職業紹介所を周知することにより農業への就労を促進する。また、県域全体で人材のデータベース化を図り、短期雇用ニーズと効率的にマッチングする仕組みを構築する。

事業実施主体構成員

静岡県、静岡県農業協同組合中央会
公益社団法人 静岡県農業振興公社 (事務局)

実績値 (目標値)

- ・労働者のマッチングの仕組みを導入する地区の数：2地区 (3地区)
- ・新たに労働者を受け入れる農業経営体等の数：次年度調査 (300経営体)
- ・労働環境に満足している労働者の割合：次年度調査 (80%以上)

令和2年度取組み内容

ア 労働力の需給状況の把握

- ・無料職業紹介所 (JA、公社、ハローワーク) の求人情報の把握分析
- ・産地における短期雇用ニーズの人数把握
- ・農作業請負等で連携できる可能性のある企業等 (社会福祉法人、大学) へ訪問

イ 労働力の確保・育成

- ・新たな広告手法による求人情報の発信 (新聞折込広告、WEB広告)
- ・農作業マニュアル動画の制作 (イチゴ、レタス)
- ・農作業体験会の実施 (タマネギ苗定植、ダイコン収穫、ミカン収穫) ⇒別紙1

ウ 労働力等のマッチング及びデータベース化

- ・短期雇用ニーズと連携企業のマッチングの試行
就労継続支援B型事業所利用者によるミカン収穫の作業請負 (農福連携) および生活困窮者の就労体験を実施⇒別紙1、別紙2
- ・企業等に対し希望する働き方に応じた農作業の仕事を紹介する仕組み「しず農コネクト」を、JA静岡中央会において開設準備
- ・JA求人サイトへの人材登録・データベース作成、メールによる求人情報の随時配信

エ 農業の働き方改革への取組

- ・令和元年度に実施した農業者アンケート結果から労務環境に関する課題を抽出し、働き方改革実行計画を作成

体験内容	タマネギ苗定植	ダイコン収穫	ミカン収穫
実施体制	静岡県農業労働力確保戦略センター、JAとぴあ浜松	静岡県農業労働力確保戦略センター、JAとぴあ浜松	静岡県農業労働力確保戦略センター、JAみっかび
開催日時	令和2年9月29日	令和2年10月20日	令和2年11月18日
参加人数	8名	22名	3名
募集方法	新聞折込広告（集合） JA求人サイト掲載	新聞折込広告（単独） JA求人サイト掲載	社会福祉法人からの提案 （就労支援事業の一環）
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・タマネギ苗の堀上げ、定植作業体験 ・就労希望者を無料職業紹介所登録と面接へ案内 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイコン収穫、調整、洗浄、箱詰め作業の体験 ・就労希望者を無料職業紹介所登録と面接へ案内 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミカン収穫作業 
実施後アンケート結果	タマネギ定植で働きたい 6名（75%）	ダイコン収穫で働きたい 17名（77%）	居住地の近くで同じような仕事があれば働きたい 3名（100%）

実施体制	静岡県農業労働力確保戦略センター、JAみっかび
開催日時	体験：令和2年11月25日 作業請負：12月4日、11日
参加人数	体験：2名、請負：3名
経緯	令和元年度に、県西部地域の一般企業(20社)に対して実施した農業労働力連携可能性アンケートにおいて、農業への連携可能性があるとの回答が得られた社会福祉法人に対してアプローチした。
内容	<ul style="list-style-type: none">・ 就労継続支援B型事業所の利用者・職員を対象としたミカン収穫体験を実施 ミカン収穫方法と注意事項を説明し、実際に収穫・ 利用者による作業請負を2日間試行（1日あたり4時間）  
今後の展開	<ul style="list-style-type: none">・ 農福連携コーディネーターの支援を受ける・ 年間作業カレンダーに基づいて複数の農作業を提案

課題と令和3年度の実施内容

ア 労働力の需給状況の把握	
【課題】 ・新型コロナウイルス感染拡大による雇用情勢変化	【次年度の実施内容】 ・無料職業紹介所を中心とした継続的な情報収集（JA、ハローワーク、公社）
イ 労働力の確保・育成	
【課題】 ・潜在労働力のさらなる掘り起こしと確保	【次年度の実施内容】 ・JA求人サイトの広告活動 ・農作業体験会の開催（対象：農協准組合員、企業、一般、学生団体等） ・農作業マニュアル動画の制作 ・企業・団体に対する農業への連携の働きかけ ・農業に関心を持つ移住希望者を、農業への就労につなげる仕組みの検討
ウ 労働力等のマッチング及びデータベース化	
【課題】 ・新たなマッチング事例の創出	【次年度の実施内容】 ・農作業体験会をきっかけとしたマッチング実施
エ 農業の働き方改革への取組	
【課題】 ・農業者の雇用環境改善に向けた意識向上 ・就業者の定着率向上	【次年度の実施内容】 ・農業経営士、青年農業士に向けた働き方改革研修会の開催 ・被雇用者を対象としたアンケートの実施
オ 他産地・他産業との連携による労働力確保	
【課題】 ・潜在労働力のさらなる掘り起こしと確保（再掲）	【次年度の実施内容】 ・企業・団体に対する農業への連携の働きかけ（再掲）